

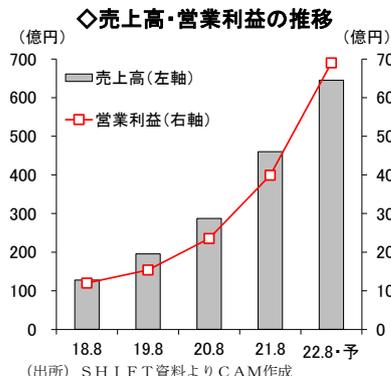
企業ニュース SHIFT

(東証プライム : 3697) <https://www.shiftinc.jp>

作成者: 村上大志

ソフトウェアテストのリーディングカンパニー

2005年設立。ソフトウェアの品質保証・テストのリーディングカンパニー。ソフトウェアテストのコンサルティングをはじめ、テストエンジニアの検定制度「CAT検定」や、テスト支援ツール「CAT」などを提供する。会社は、国内IT市場規模約16兆円のうちソフトウェアテスト市場は約5.5兆円、ソフトウェアテストのアウトソーシング率は1%強にとどまっているとみている。テストの分業化が進むことで事業規模の拡大が期待される。中期経営計画では25.8期の売上高1,000億円、エンジニア数10,000人などを目標に掲げているが、1~2年の前倒し達成を見込む。21.8期のセグメント別売上高構成比は金融、流通、製造、通信業などのエンタープライズ市場93%、ゲーム関連のエンターテインメント市場7%。



今期2度目の通期計画の上方修正を発表

22.8期・第2四半期累計(9-2月)の連結業績は売上高が299億円、前年同期比47%増、営業利益が38億円、同157%増。営業力の強化による顧客基盤の拡大に加え、大口案件の増加や高単価サービスの提供などによるエンジニア単価の上昇が業績に寄与した。また、採用施策の実施が奏功し、エンジニア数は同35%増の7,279人と順調に増加した。

22.8期の会社計画は売上高が645億円、前期比40%増、営業利益が69億円、同73%増。上期の進捗状況を踏まえ、通期計画の売上高を10億円、営業利益を6億円上方修正した。上期の成長力を維持しながら、引き続き人材採用やM&Aなどの戦略的な投資を加速させる方針を示している。営業力の強化に加え、DX(デジタルトランスフォーメーション)ニーズの拡大で新規顧客は順調に増加している。また、上流からのトータルサービスの提供や他部署への展開などにより、エンジニア単価は上昇傾向にある。3月にM&Aに関する業務を主力事業とする子会社を設立した。M&Aの加速に加え、PMI(統合プロセス)リソースを集中することでグループ会社の管理体制の強化が期待される。

[株価動向・投資判断]

顧客基盤の拡大とエンジニア単価の上昇で、収益性は改善している。人材採用も順調に進んでおり、持続的な成長が期待できよう。

<3697 SHIFT 業績:日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
20.8	28,712 (47)	2,353 (53)	2,535 (64)	1,648 (70)	104.5	0.00
21.8	46,004 (60)	3,994 (70)	4,736 (87)	2,818 (71)	162.7	0.00
22.8 予	64,500 (40)	6,900 (73)	7,300 (54)	4,500 (60)	256.0	0.00



[主要株価指標] (売買単位: 100株)

株価(2022/4/22)	23,570 円
年初来高値(高値日)	26,990 円(22/4/14)
同 安値(安値日)	16,410 円(22/1/28)
予想PER(22.8予)	92.1 倍
1株株主資本(PBR算出用)	1,306.5 円
PBR	18.04 倍
予想配当利回り	0.00 %
(1株当たり配当金年0.00円)	
ROE(21.8)	17.1 %
発行済み株式数	1,778 万株